年間授業計画

新宿山吹 高等学校 令和６年度　　教科 芸術　科目 音楽Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　音楽Ⅰ　　単位数：　2　単位

使用教科書：　改訂版ON！

教　科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。

科　目　音楽Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 歌	表現 器	表現 創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	A 歌唱 曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解を深める。日本語、外国曲の特徴をとらえて、リズム・旋律・ハーモニーの関わりを理解する。歌唱に対する意識をもち、楽曲にふさわしい表現を工夫する。	・呼吸や口の形など発声の基本を学習する。日本語、外国曲の発音に注意して歌う。楽曲にふさわしい表現で楽しく歌う。 ・「校歌」「翼をください」　「少年時代」「小さな空」　「カロミオベン」「おおシャンゼリゼ」 ・一人１台端末の活用等	○		○	○	【知・技】曲想と歌詞、言葉の特性と発声との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現、楽曲にふさわしい表現をするための技能を身につけている。 【思】旋律や声の音色、言葉のリズムを理解してどのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【態】楽曲に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	A 器楽 日本の伝統楽器三味線の特徴を理解して基礎的な奏法を習得する。三味線の学習では我が国の伝統音楽に親しむ心情を養う。楽曲にふさわしい表現ができるようにする。	・三味線の基本的な奏法を学習する。・長唄の特徴と文化的・歴史的背景について理解する。・日本古謡、長唄勧進帳「寄せの合方」等を演奏する。 ・一人１台端末の活用　等	○	○		○	【知・技】三味線は基礎奏法、長唄の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。【思】三味線は音色やテクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わう。また和楽器をどのように表現するかについて表現意図をもっている。【態】日本の伝統的な音楽に関心をもち、主体的・協働的に伝統音楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	A 器楽・創作　鍵盤 楽器に興味をもち、音階や和音の学習から和音進行から旋律をつくる活動、音階から旋律をつくる活動に進み、鍵盤楽器で弾いて表現の工夫をする。	・楽器の初歩として音階と和音を鍵盤楽器を併用して学習する。・単旋律教材から鍵盤楽器に親しみをもち弾くことへの興味をもたせる。・三重奏「ディズニー・ア・ラ・カルト」等のアンサンブルで合奏を楽しむ。・一人１台端末の活用　等	○	○	○	○	【知・技】音階や和音を弾いたときの響きや、音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫をを生かした器楽表現をするために必要な、音楽形態の特徴を生かして演奏する技能を身につけている。【思】音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの働きを感受し、特徴を理解して、どのように音楽を作り出し、表現するかについて表現意図をもっている。【態】鍵盤楽器の演奏や、独奏やアンサンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に創作活動や器楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	B鑑賞　西 洋の様々な音楽の特徴を理解し、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くとともに、諸外国の音楽に親しむ心情を養う。	・教会音楽、ルネッサンス、バロック、古典派音楽の特徴と文化的、歴史的背景について理解する。・それぞれの音楽の共通点や違いについて考える。・社会にとっての音楽の意味や価値について考える。 ・一人１台端末の活用　等	○	○		○	【知・技】西洋の様々な音楽の特徴と文化的。歴史的背景について理解している。音楽と社会との繋がりについて興味、関心をもつ。【思】音色やリズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【態】世界の様々な音楽に関心をもち、主体的・協働的に創作活動や器楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
後期	A 歌唱 日本語の美しさを感じ取り、発音に注意をしながら、歌詞の内容や曲想を理解し、楽曲にふさわしい表現の工夫をして歌う。イタリア語、ドイツ語、英語の発音の特徴、言葉のリズムと旋律との関わりを理解し、表現の工夫をして歌う。	・楽曲の発音に注意して歌う。楽曲の言葉（歌詞）のリズムと旋律の関わりを理解する。歌詞の内容、曲想を理解し、楽曲に合わせた表現をして歌う。 ・「椰子の実」「夏の思い出」「島唄」「オーソレミオ」「野ばら」「Tonight」・自由発表 ・一人１台端末の活用　等	○		○	○	【知・技】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な言葉（歌詞）の特徴を理解し、楽曲に応じた発声等の技能を身につけている。【思】言葉（歌詞）のリズムと旋律の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。【態】楽曲に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	7
	A 器楽 長唄の特徴を理解し、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くとともに、我が国の伝統的な音楽に親しむ心情を養う。	・長唄勧進帳「寄せの合方」を三味線で小鼓等と合奏できるように深める。・現代的な三味線曲「千本桜」をリズムにのって演奏する。・長唄、歌舞伎について学習する。・西洋音楽との共通点や違いについて考える。　・一人１台端末の活用　等	○	○		○	【知・技】三味線は基礎奏法、長唄の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。【思】三味線は音色やテクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わう。また和楽器をどのように表現するかについて表現意図をもっている。【態】日本の伝統的な音楽に関心をもち、主体的・協働的に伝統音楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	A 器楽・創作　ギ ターに興味をもち、音階や和音の学習から、表現の工夫をして演奏する。和音進行から旋律をつくる活動、音階から旋律をつくる活動に進み、鍵盤楽器等でも表現の工夫をする。	・ギターの音階と簡単なコードを学習する。・単旋律教材と器楽アンサンブルに親しみをもち、ギターを弾くことに興味をもつ。・教科書掲載の「She　Loves You」等のアンサンブルでギター、鍵盤楽器等の合奏を楽しむ。・自由発表で学習した成果を表現する。 ・一人１台端末の活用等	○	○	○	○	【知・技】曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解している。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身につけている。【思】音色やコードの響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【態】ギター、鍵盤楽器等の独奏やアンサンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に創作活動や器楽の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	B鑑賞　ア ジア地域の様々な音楽の特徴を理解し、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴くとともに、諸外国の音楽に親しむ心情を養う。	・日本音楽、ガムランなどアジア地域の音楽の特徴と文化的、歴史的背景について理解する。・それぞれの音楽の共通点や違いについて考える。・社会にとっての音楽の意味や価値について考える。 ・一人１台端末の活用等	○	○		○	【知・技】日本、アジア地域の様々な音楽の特徴と文化的、歴史的背景について理解している。音楽と社会との繋がりについて興味、関心をもつ。【思】音色やリズム、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。【態】アジア地域の様々な音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	8
										合計	70

年間授業計画

新宿山吹 高等学校　令和６年度　　教科 芸術　科目 美術Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

使用教科書：　高校生の美術１

教　科　　芸術　　の目標：

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。

科　目　　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			絵・彫	デ	映						
前期	A表現 【知識及び技能】 形や質感が感情にもたらす効果を理解できるようにする。 意図に応じて紙の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 オノマトペから感じ取ったことや考えたことなどを基に、主題を生成し、創造的に発想し構想を練ることができるようにする。 他者の作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 紙による彫刻表現及び鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとする。	彫刻「紙で表すオノマトペ」 内容 紙による立体表現	○			○	【知】 形や質感が感情にもたらす効果を理解している。 【技】　意図に応じて紙の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。 【発】 オノマトペ感じ取ったことや考えたことなどを基に、主題を生成し、創造的に発想し構想を練っている。 【鑑】 他者の作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【態表・態鑑】 紙による彫刻表現及び鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	4
	B鑑賞及びA表現 【知識及び技能】 色や構図などの造形的な働きを理解し、全体のイメージや作風、様式などを捉えることができるようにする。 意図に応じてアクリルガッシュの特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えたり、絵画作品から美意識や創造性などを感じ取り、美術文化について考えたりして見方や感じ方を深めることができるようにする。 身近なものから感じ取ったことや考えたことなどを基に、主題を生成し、創造的に発想し構想を練ることができるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 絵画の鑑賞活動及びアクリルガッシュによる絵画表現の創造活動に主体的に取り組もうとする。	鑑賞「≪ゴッホの椅子≫」 絵画「思い入れアート」 内容 ①フィンセント・ファン・ゴッホの≪ゴッホの椅子≫の作品の鑑賞を通して見方や感じ方を深める。 ②愛着のあるものをアクリル絵の具で描き表現する。	○			○	【知】 色や構図などの造形的な働きを理解し、全体のイメージや作風、様式などを捉えている。 【技】 意図に応じてアクリルガッシュの特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。 【発】 身近なものから感じ取ったことや考えたことなどを基に、主題を生成し、創造的に発想し構想を練っている。 【鑑】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えたり、絵画作品から美意識や創造性などを感じ取り、美術文化について考えたりして見方や感じ方を深めている。 【態表・態鑑】 絵画の鑑賞活動及びアクリルガッシュによる絵画表現の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	18
	A表現 【知識及び技能】 色や形の視覚的伝達効果を理解できるようにする。 意図に応じてアクリルガッシュの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 校内の課題を解決するピクトグラムを考え、主題を生成し、創造的な表現の構想を練ることができるようにする。 他者の作品から目的や機能との調和の取れた洗練された美しさを感じ取り、表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 校内を案内するピクトグラムの表現及び鑑賞活動に、主体的に取り組もうとする。	デザイン「校内案内ピクトグラム」 内容 校内の課題を解決するピクトグラムをデザインする。		○		○	A表現 【知識及び技能】 色や形の視覚的伝達効果を捉え、意図に応じてアクリルガッシュの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 校内の課題を解決するピクトグラムを考え、主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 他者の作品から目的や機能との調和の取れた洗練された美しさを感じ取り、表現の意図や工夫について考え、見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 校内を案内するピクトグラムの表現及び鑑賞活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
	A表現 【知識及び技能】 視点や動きなどの映像表現の視覚的な働きについて理解できるようにする。 意図に応じて映像表現の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 感じ取ったことや考えたことを基に主題を生成し、視点や動きなどのアニメーションの視覚的な働きについて考え、画面の中での大きさや動かし方、場面のつなげ方などによる表現効果を考えるなどして創造的な表現の構想を練ることができるようにする。 他者の作品のアニメーションによる表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 映像表現の表現及び鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとする。	映像「絵コンテを描く」 内容 絵コンテでアニメーションを構想する。 一人一台端末の活用			○	○	【知識及び技能】 視点や動きなどの映像表現の視覚的な働きについて捉え、意図に応じて映像表現の特性を生かし、表現方法を創意工夫し、表現の意図を効果的に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 感じ取ったことや考えたことを基に主題を生成し、視点や動きなどのアニメーションの視覚的な働きについて考え、画面の中での大きさや動かし方、場面のつなげ方などによる表現効果を考えるなどして創造的な表現の構想を練っている。 他者の作品のアニメーションによる表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や表現の意図や工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 映像表現の表現及び鑑賞の創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	14
後期	B鑑賞及びA表現 【知識及び技能】 色や構図などの造形的な働きを理解し、全体のイメージや作風、様式などを捉えることができるようにする。 意図に応じて版画の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えたり、絵画作品から美意識や創造性などを感じ取り、日本の美術文化について考えたりして見方や感じ方を深めることができるようにする。 描きたい風景を基に、主題を生成し、創造的に発想し構想を練ることができるようにする 【学びに向かう力、人間性等】 版画の鑑賞活動及び版画による絵画表現の創造活動に主体的に取り組もうとする。	鑑賞「浮世絵の魅力を探る」 絵画「版画で風景画を表す」	○			○	B鑑賞及びA表現 【知識及び技能】 色や構図などの造形的な働きを理解し、全体のイメージや作風、様式などを捉え、意図に応じて版画の特性を生かし、表現方法を創意工夫して創造的に表している。 【思考力、判断力、表現力等】 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考えたり、絵画作品から美意識や創造性などを感じ取り、日本の美術文化について考えたりして見方や感じ方を深めている。 描きたい風景を基に、主題を生成し、創造的に発想し構想を練っている。 【学びに向かう力、人間性等】 版画の鑑賞活動及び版画による絵画表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	20
										合計	70

年間授業計画

新宿山吹 高等学校 令和６年度　　教科 芸術　科目 工芸Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　工芸Ⅰ　　単位数：　2　単位

使用教科書：　工芸Ⅰ　日本文教出版

教　科　芸術　の目標：

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。

科　目　工芸Ⅰ　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて制作方法を創意工夫し、造形的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、工芸の働きなどについて考え、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識を持って工芸や工芸の伝統と文化に対する見方や感じ方を深めたりすることがで	主体的に工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、工芸の伝統と文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 身	表現 社	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	A表現 【知識及び技能】 　ペーパークラフトBOXの造形の要素を働きを理解できるようにする 【思考力、判断力、表現力等】 紙という素材や自己の想いなどから心豊かな発想ができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に身近な生活の中で使われる箱と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等 １．ペーパークラフトBOX	○		○	【知・技】 造形の要素の働きを理解している 【思】 自然や素材、自己の思いなどから心豊かな発想をしている 【態】 主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	4
前期	A表現 【知識及び技能】 　ペーパーナイフを意図に応じで制作方法を創意工夫し、造形的に表すことができる 【思考力、判断力、表現力等】 用途と美しさの調和を考え、ペーパーナイフの表現のよさなどを生かした制作の構想を練っている 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとすることができる。	２．クラフトロイドペーパーナイフ	○		○	【知・技】 ペーパーナイフを意図に応じで制作方法を創意工夫し、造形的に表すことができる 【思】 用途と美しさの調和を考え、ペーパーナイフの表現のよさなどを生かした制作の構想を練っている 【態】 主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	18
前期	A表現 【知識及び技能】 　グラスリッツェン制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思考力、判断力、表現力等】 ガラスという素材や自己の思いなどから心豊かな発想をすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】	３．グラスリッツェン	○		○	【知・技】 グラスリッツェン制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思】 ガラスという素材や自己の思いなどから心豊かな発想をしている 【態】 主体的に身近な生活と工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
後期	A表現 【知識及び技能】 革クラフトの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思考力、判断力、表現力等】 革という素材や自己の思いなどから心豊かな発想ができる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に身近な生活と革クラフトの表現の創造活動に取り組もうとしている	４．革クラフト（牛革） 　ICカード入れ 　コースター	○	○	○	【知・技】 革クラフトの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思】 革という素材や自己の思いなどから心豊かな発想をしている 【態】 主体的に身近な生活と革クラフトの表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	18
後期	A表現 【知識及び技能】 絞り染めと型染めの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思考力、判断力、表現力等】 布という素材や染色の特性などから、自己の思いなどから心豊かな発想をできる 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に身近な生活と染色工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている	５、染色（トートバッグ） 　絞り染め、型染め	○		○	【知・技】 絞り染めと型染めの制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすことができる 【思】 布という素材や染色の特性などから、自己の思いなどから心豊かな発想をしている 【態】 主体的に身近な生活と染色工芸の表現の創造活動に取り組もうとしている	○	○	○	16
									合計	70

年間授業計画

新宿山吹 高等学校　令和６年度　　**教科** 芸術　**科目** 書道Ⅰ

教　科：　芸術　　科　目：　書道Ⅰ　　単位数：　2　単位

使用教科書：　書道Ⅰプライマリーブック　教育図書

教　科　　芸術　　の目標：

【知識及び技能】	芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を養う。

科　目　　書道Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
漢字や仮名文字の基本的な書写能力を身につけ、表現している。また、古典の書風を理解し、用筆・運筆の技法を身につける。その技法を日常の書に生かす。	漢字や仮名文字の伝統に裏打ちされた美意識と感性を理解する。また、それを自分の表現や創作に生かすよう、試みる。日常の中に書の美を発見し、鑑賞力を養う。	書の伝統と、書を支える筆・墨・硯などの伝統に支えられた技能に関心を持ち、それを守り、育むことの大切さを理解する。伝統と文化を継承する、忍耐と努力の意味を理解する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
前期	書へのいざない 書道の基本 書写から書道へ 書の古典と古典に基づく学び 】	用具用材の製法とそれによる取り扱い方 書の古典とは何か。また授業での取扱方。端末による検索方法など。	○	○		○	用具用材の取り扱いを理解して用いる。 中学までの書写と書道の意義の違いを理解する。　筆順や文字の成立などについて　端末による検索方法を理解する。	○	○	○	8
前期	漢字の書 楷書の成立について ①さまざまな楷書（唐時代の楷書を中心に）	楷書の基本的用筆について解説。 ①孔子廟堂碑 ②九成宮禮泉銘 ③雁塔聖教序 など古典を臨書して技法と書風を理解する。		○		○	楷書の特徴を理解し、書風の違いと筆の使い方による表現の差を理解する。 唐時代の文化的背景や、政治的背景の影響を理解する。	○	○	○	10
前期	②さまざまな楷書（唐時代と北魏の書を中心に）	④顧氏家廟碑 ⑤龍門の石窟と造像記について ⑥鄭道昭の書について		○		○	中唐時代の時代背景と書の作者との関係をり解する。 北魏の時代背景と二つの書風の違いを知る。 楷書の表現の多様性を理解する。	○	○	○	10
前期	②さまざまな楷書（唐時代と北魏の書を中心に） 行書の書	楷書の書の多様性を知る。 行書の書の成立について学ぶ。 ①集王聖教序について		○		○	書体の成立から、行書体の成立と用筆法の違いを理解する。 書体による筆の変化を知る。	○	○	○	7
後期	行書の書 王義之の蘭亭序を中心に 空海の書 隷書と篆書の書	東晋の行書の書の成立を学ぶ。 筆者の王義之と文化的背景について学ぶ。 また、日本の書への影響について学ぶ。 曹全碑と泰山刻石から書の成立過程から文字の意義を学ぶ。		○		○	王義之の行書の特徴を理解し、その中国や日本への影響を理解する。 筆脈や文字の空間の使い方を学び、文字のスケールの大きさを知る。 書体による用筆の違いを知る。	○	○	○	8
後期	篆刻を学ぶ	印の歴史、意義、また作品との関係を学ぶ。 ①検字 ②印稿作成 ③印に布字をする。 ④印を彫る。		○		○	書作品における、落款と印の意義を理解する。	○	○	○	10
後期	漢字の書の創作 仮名の書	今までの技法を駆使し、紙や墨の多様性を理解して、創作に生かす。 端末などを活用して、創作の素材を探し、筆順などを調べて参考に創作する。 ⑤自分の作品に押印する。		○	○	○	漢字の書の創作を試み、工夫して、楽しむ。 仮名文字の成立過程を知る。 日本の文字の文化を理解して、芸術的文化の背景を考察する。	○	○	○	10
後期	仮名の書 漢字仮名交じり書	①古筆を知る。 ②筆遣いを学ぶ。 ③高野切第三種を臨書する。 ④古典（古筆）を鑑賞する。 ①自分の言葉や、自分の好きな言葉や歌詞を選び、創作する。②一年間の書の表現の多様性を考察する。	○	○	○	○	古筆の美しさを理解し、伝統を継承する重要性を理解する。 また、茶道や華道など日本文化の伝統に裏打ちされた書文化の奥行きの深さを理解し、継承する意義を理解する。	○	○	○	7
										合計	70